



日本共産党品川区議会議員

週刊

みやさき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2008年6月15日 No.621

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

「品川区議会」
「品川区民」
「品川区」
「品川区」



共産党
が
条例提案

高齢者の入院負担軽減を

千代田・新宿につづいて 品川区も ぜひ！

日本共産党品川区議団提案の

高齢者の入院負担軽減 支援金支給条例の要旨

- ① 75歳以上の品川区民を対象。
- ② 入院や日用品購入の負担軽減が目的。
(ただし、差額ベッド代など保険外医療は対象外)
- ③ 月額1万円を上限に支給。
- ④ 2009年1月から実施。



日本共産党品川区議団は6月議会に、高齢者の入院費用負担を軽減するため支援金制度を創設する条例制定を提案しました。同様制度は千代田区、新宿区がすでに始めており、日本共産党は以前から品川区でも実施するよう提案してきました。

日本共産党区議団が提案した「高齢者医療入院時負担軽減支援金の支給に関する条例」は、75歳以上の区民が医療機関に入院した場合、月額1万円を限度に支援金を支給するものです。差額ベッド代と保険外診療を除いた入院費や下着など日用品の購入、紙オムツ代にも使えるようにして、高齢者の入院負担を軽減するものです。

この制度は、年間およそ2億円が必要になります。品川区の基金Ⅱ貯金は600億円超。昨年1年間だけで150億円も新たに積み立てており、やり繰りは十分可能です。

子ども医療費は中学3年まで無料になりました。子どもに続いて高齢者の医療費負担への支援策が実現できるよう、みなさんの応援をお願いします。

高齢者入院支援金 「所得制限なし」が提案です

日本共産党区議団提案の入院支援金制度は、所得制限をつけず75歳以上すべてを対象にします。税負担は収入によって異なりますが、社会保障制度は平等にするように考えています。

子ども医療費も所得制限はありません。また、すでに高齢者の入院助成金を実施している千代田区と新宿区も所得制限はありません。「健全財政」を誇る品川区が、所得制限をつける理由はありません。



「太田総理」で高齢者医療無料化が可決 注目集める「ゼロの会」の運動

自民・公明が強行した後期高齢者医療制度。政府の調査でも保険料は低所得者ほど値上げ、受けられる医療も差別されるといふヒドイものです。一方、医療費負担の無料化を求める世論・運動が広がっています。

今、「ゼロの会」が注目を集めています。これは神奈川県開業医の団体が呼びかけた「医療費の窓口負担ゼロ」をめざす運動で、映画監督の山田洋次さん

など多数の著名人が賛同しています。また、テレビ番組「太田総理」では高齢者医療の無料化の提案が賛成多数で可決されるなど、医療の負担軽減を求める

日本はかつて健康保険本人も高齢者も医療は無料でした。

10年間で59兆円も道路建設に使うという自民と公明が医療をドンドン悪くした。命こそ大事です。



世論と運動が広がっています。高齢者医療無料化は多くの国民の願いです。

保険料を払っているのに、受診時にも負担させる日本の制度はそもそもおかしい話です。憲法25条は「国民の生存権の保障」を明記、国は国民の医療を受ける権利を保障する責任があります。ヨーロッパ諸国の多くは患者負担は原則無料です。

日本共産党品川区議団は、高齢者の医療費無料化は品川区単独でも可能であり、区長に実施を決断するよう提案してきました。今回提案した入院支援金制度がその第一歩になればと思います。

<お知らせ>

6月19日(木)から区議会第2回定例会 本会議質問は中塚・菊地の両議員が行います。

日本共産党は今定例会に「高齢者医療入院時負担軽減支援金の支給に関する条例」を提案します。また、本会議一般質問は中塚亮(19日)、菊地貞二(20日)の両議員が行います。中塚議員は①介護・福祉職員の確保、②奨学金制度の充実、③(仮称)JR東日本東京資源循環センターの情報公開。菊地議員は①後期高齢者医療制度の廃止、②中央環状品川線建設の中止、③認可保育園の増設—についてです。ぜひ傍聴に来てください。

無料

法律相談

6月20日(金)

Pm 6:30

みやざき克俊事務所

